

第16回 医療安全監査委員会議事録

日 時：令和7年3月12日（水）

出席者：【監査委員会委員】

藤本良知委員長（議長）、森田眞照委員、吉野敬昌委員、
谷川昇委員、薦幸治委員

【病院側出席者】

長沼誠医療安全管理責任者、宮崎浩彰医療安全管理部長、
徳永あゆみ医療安全管理部副部長、藤原宏司事務部長

【事務局】秘書室 齋藤、森田

欠席者：【監査委員会委員】永井仁美委員

【病院側出席者】松田公志病院長

議 事：

1. 業務状況報告

宮崎医療安全管理部長から、資料に沿って次の5つの業務報告が行われた。

- ① 医療安全管理部業務状況報告
- ② 医療安全管理対策委員会業務状況報告
- ③ 医薬品安全管理責任者業務状況報告
- ④ 医療機器安全管理責任者業務状況報告
- ⑤ 医療放射線安全管理責任者業務状況報告

2. 講評（監査結果）

主な意見は以下のとおりであった。

（意見）

- ・医薬品関連インシデントのうち、調剤の割合が増加しているが、要因と対策は？

（回答）

- ・薬剤師の退職者が多く人員確保が難しい状況である。また、入職希望者も少ない。人員不足が要因と考える。今後は薬剤師の数を増やすことと機械的なチェックが必要ではないかと思う。

（意見）

- ・機械によるチェックで誤調剤を捉えられるのか？

（回答）

- ・処方オーダーのバーコードと薬剤の現物のバーコードをチェックするので、誤調剤は発生しない。導入している病院では、薬剤師の資格がない職員が調製し、正しい処方がされているか、副作用がないかなどの監査を薬剤師が行っているところもある。機械の早期の導入を望んでいる。

（意見）

- ・金融機関ではカスタマーハラスメントに対する規程を作り、方針を整備することが求められている。病院でも理不尽な苦情などがあると思うが、どのような対応をしているのか？ポスターの掲示などを行っているのか？

(回答)

- ・患者サービス窓口の課長のうち1名が警察OBであり、苦情等があった場合は、立ち会って話し合いをし、解決するケースが多い。
- ・苦情・相談はインシデントレポートにより医療安全管理部でも把握している。医事課長と相談して正当な事案と不当な要求を切り分けて対応している。
- ・ポスターの掲示等は現時点では行っていない。

次回開催日について

令和7年9月10日(水) 14:30からの予定

正式決定後に事務局より連絡

以 上